



女子学生のアイデア形に



大学院2年

手島慶祐

広島工業大（広島市佐伯区）の女子学生が参加する「こだわりのルームプロジェクト」の改装デザイン案で最優秀賞となった部屋の施工が始まった。地元の業者から提供を受けたマンションの一室を、実際に女子学生がデザインするプロジェクト。施工後は賃貸物件として貸し出す。

最優秀賞に選ばれたのは建築デザイン学科2年の中村日香さ

マンション一室を施工

ん(20)たち5人のグループ。「なんか落ち着く、お部屋」をコンセプトに、ゆったり過ごせる空間を目指している。木とコンクリートでぬくもりある空間を演出した。インテリア風の「見せる収納」は機能性も重視した。施工体験ではグルーブ以外の学生も加わり、壁紙の張り替え作業などをした。

施工体験は新型コロナウイルス禍で3年ぶりとなった。中村さんは「デザイン性と施工のしやすさを両立させるのは難しい。しかし自分たちのアイデアを形にするプロセスは貴重な経験になった」と喜んでいた。



部屋の改装に取り組む女子学生